

2020年

1月号

# 社会福祉法人 杉水福祉会 杉水保育園 園だより

熊本県菊池郡大津町杉水3251

TEL:096-293-8156

FAX:096-293-8591

http://www.sugimizu-ns.com

新年明けましておめでとうございます。オリンピック開催が東京に決まった際は遙か先と感じていた「2020年」となりました。年始よりアメリカのイラン攻撃と世界情勢・経済にどのような影響が出てくるか不安な年明けとなりましたが、皆様にとって、そして日本、世界にとって大きな災害がなく平和な1年となることを心より願っております。

今年も職員一同、真摯に子どもたちと向き合い健やかな育ちの一助となれるよう保育にあたって参りますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

昨年末は保育園の駐車場等整備のため、送迎いただいている皆様方にご協力をいただきありがとうございました。皆様方のご協力の下、各種工事がスムーズに進み駐車場や子どもたちの遊び場・畑等の整備を行うことができました。今年も引き続き、子どもたちの安全と健やかな育ちのため環境整備を行い恵まれた環境を十分に活用していきたいと思っております。

1年で最も寒い時期となりインフルエンザ等感染症が広まりやすい時期となります。引き続き感染症などの情報をメールや掲示板などを使用しお伝えしていきますのでご確認をよろしくお願いいたします。

新年を迎え2月の発表会にむけて合奏や劇などの練習が徐々に本格的になってきます。イメージを膨らませ音楽や劇、遊戯などを楽しむと共に、行事を通じ同じ目標に向かってみんなで一つのことを成し遂げる楽しさや充実感を味わって欲しいと思っております。また、会場となる大津町文化ホールの使用開始時間（楽屋を含む）が9時となることに伴い発表会のプログラム構成を一部変更いたしますのでご理解をお願いいたします。詳しくは後日お知らせ致します。

## 1月以降の予定

1月 9日(木)	どんどこや	
15日(水)	新幹線車両基地見学	らいおん組
19日(日)	大津町消防出初式	らいおん組 大津町運動公園
22日(水)	魚の解体ショー	大翔水産
29日(水)	誕生会	
2月6日(木)	発表会リハーサル	大津町文化ホール
2月22日(土)	発表会	大津町文化ホール
3月21日(土)	卒園式	らいおん組 謝恩会：屋よりエアポートホテル熊本

1月22日・・保育園初のイベント「魚の解体ショー」を食育の一環として、日頃より生魚をお世話になっている大翔水産さんが行ってくれます。きりん組・らいおん組のお友だちにお魚をさばいてくれる予定です。



### 【今月の1枚】

12月11日もちつき大会を行いました。保護者の方々をはじめ多くの皆様方にご参加いただきありがとうございました。らいおん組さんが1年かけ育てたもち米30kgを使用し、みんなで美味しいお餅をつくことができました。自宅ではなかなか行わなくなった伝統行事ですが、保育園では今後も大切にしたい行事です。

「はいチーズ」さんが撮ってくれた写真もUPされていますので是非ご利用ください。

## ～変化する時代～

年末、厚生労働省より2019年の人口動態統計の年間推計が発表され、国内出生数は86万人と前年比5.92%減と1899年の統計依頼初めて90万人を下回り、合計特殊出生率は1.42（2018年）と少子化人口減が一層加速していることが示されました。

これは団塊ジュニア世代が45歳以上となった影響が大きく、今後は少子化対策に劇的な変化は望めず、人口減社会・経済へと急激に転換していきます。

そんな中で悲観的になりがちではありますが、この危機をどう乗り越えるかが今の日本人に問われているのではないのでしょうか。

少子化に歯止めをかけ、活力ある社会を築くためにも「男性が積極的に家庭にかかわる社会」へとシフトしていくことが必要です。

経済的な負担だけでなく、女性の育児負担が大きいことから第2子以降をためらうことから積極的な夫の積極的な家事育児への参加が少子化を止めることにもつながるといわれています。

Amazon Prime Videoに「ALL or NOTHING」という各国のスポーツチームを1年間取材したスポーツドキュメンタリーシリーズ番組があります。ニュージーランドのラグビー代表オールブラックスの選手やマンチェスターシティのサッカー選手など外国のスポーツ選手たちの私生活を見ているとその価値観の違いに驚かされるとともに日本もこのようにシフトしていかななくてはいけないのだと感じさせられます。

「男尊女卑」という言葉自体は日本でも死語のような感じですが、実際はまだまの状況で男女平等ランキングでは世界121位ととても先進国とは言えなく、インドや中国、アラブやアフリカの国々よりも下位になっているのが現実です。

国も働き方改革などこのような方向に動きつつはありますが、実際に社会を変えていくのは国民一人ひとりの価値観と行動です。

年々、保育園でも延長保育を利用する家庭がかなり減り、18時30分前に園を閉める日も出てきました。

長時間労働でなく効率的な働き方で仕事と家事育児を両立できる社会。経済優先だけでなく持続可能な社会を築いていくことが人口減の社会においてよりいっそう大切なのではないのでしょうか。

日本を含め7つの国が過去にどのように危機に立ち向かってきたかをまとめた「危機と人類」（ジャレッド・ダイヤモンド著）には「日本の最大の危機は天然資源を海外からの資源輸入に過度に依存していること」であり、その観点からすれば人口減は悪いことではないとあります。中東危機などに影響されないエネルギー政策や輸入に頼りすぎない食料自給など課題は多くありますが、日本の人口は減ったといっても1億2千万人（ドイツの人口は8千万人）。まだまだ日本にチャンスはあります。黒船の来航により西欧列強の圧力に直面し明治維新を起こしたように、国民の価値観の変化と適切な政策により国はシフトすることが出来ます。